

# 基本構想

---

西会津町総合計画

# 第1章 まちづくりの将来像

## 第1節 町の将来像

---

西会津町総合計画（第5次）では、次の将来像の実現に向けて取り組んでいきます。

将

来

像

## 未来を編む。幸せひろがる 日本の田舎、西会津町。

人と人、自然と暮らし、過去と未来を丁寧につなぎ合わせ、自然の美しさや穏やかな空気感、そこに住む人々の温かさを感じ続けてもらえる町を目指します。

日常の忙しさから少し離れ、心を満たす時間を過ごせる場所、それが西会津。

誰もが急ぎすぎることなく、生きることそのものの幸せを感じられ、どこか懐かしさや安心感を抱ける「日本の田舎」を目指します。

---

## 第2節 未来へ向かうまちづくりの方向性

---

未来へ向かうまちづくりの方向性を、次のとおり定めます。

### ◆共育の架け橋、明日へのまちづくり

---

地域が一体となった子育て支援体制の充実により、まち全体での協育環境づくりに努めます。健康な体や豊かな心、確かな学力を育み、未来を拓く子ども達の教育を大事にします。主体的な生涯学習活動を支援し、町民一人ひとりの学びが共育につながる環境整備に努めます。誰もがいつでも、身近にスポーツに親しめる環境を整備し、地域住民同士がつながりあうことを大切にします。地域の歴史を大切に継承しながら、新たな町の文化の創造を目指します。様々な教育が架け橋となって未来のひと・まちづくりを目指します。

協育・・・協力して育てる（育つ）

教育・・・人の心身両面にわたってその才能を伸ばすために教えること

共育・・・共に育つ、教える側も教わる側も共に成長する

### ◆地域資源を誇り・繋ぎ・育てるまちづくり

---

西会津町には、先人たちが築き上げてきた農業・林業・伝統工芸・観光など、かけがえのない地域産業があります。

私たちはこれらを単なる「仕事」としてではなく、地域の誇りとして受け止め、その価値を知り、伝え、次の世代に繋いでいくことを使命としています。

環境の変化や人口減少の時代にあっても、地域の知恵と技術、そして人の想いを大切にしながら、地域産業を守り育てる持続可能なまちづくりを、住民一人ひとりの手で進めていきます。

### ◆健康で生涯いきいきと暮らせる多様性のまちづくり

---

町民みんなが心身ともに健康で、生きがいを持ちながら安心して生活できる環境づくりを進めます。世代や地域を超えた交流を促進し、互いに尊重し助け合える、つながりがある町を目指します。

## ◆暮らしを守り、明日を彩るまちづくり

---

人口減少や気候変動、高齢化の進行といった社会的課題に直面しながらも、町民が日々の暮らしに安心と誇りを持てるまちづくりを追求します。

特に、雪と共に生きる地域の特性を踏まえた雪対策、老朽化が進む生活・公共インフラの計画的な更新、進展するデジタル社会への対応、災害に強いまちづくり、そして豊かな自然環境の保全は、町の持続可能な未来を築くために不可欠な取り組みです。

こうした取り組みを進めることによって、明日をより良く（明るく）彩っていきます。

## ◆共生・協創・自主・自立 多彩に輝くまちづくり

---

人々や自然が調和し、助け合いながら暮らし（共生）、町民・議会・行政のそれぞれが地域課題を「我がこと」として、町の持続可能な未来を協働で創り出します。（協創）

誰もが目標に向かって主体的に考え、行動し、必要な支援を適切に活用しながら成長できる（自主・自立）まちを目指します。

自然や文化、町民による活動など、町にある多彩な個性（魅力）が最大限に引き出され、人々が誇りを持って暮らすことができるまちづくりを推進します。

### 第3節 将来の目標人口

国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来人口推計（令和5年推計）」を基に、町の実情に合わせて推計した西会津町の将来人口基本推計では、令和22年に3,398人と推計しています。

令和2年に策定した「西会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）」のなかに位置づけている人口ビジョンでは、雇用機会の創出や交流人口の拡大、子育て支援策の充実などにより、令和22年の人口を3,800人まで引き上げることが掲げられています。

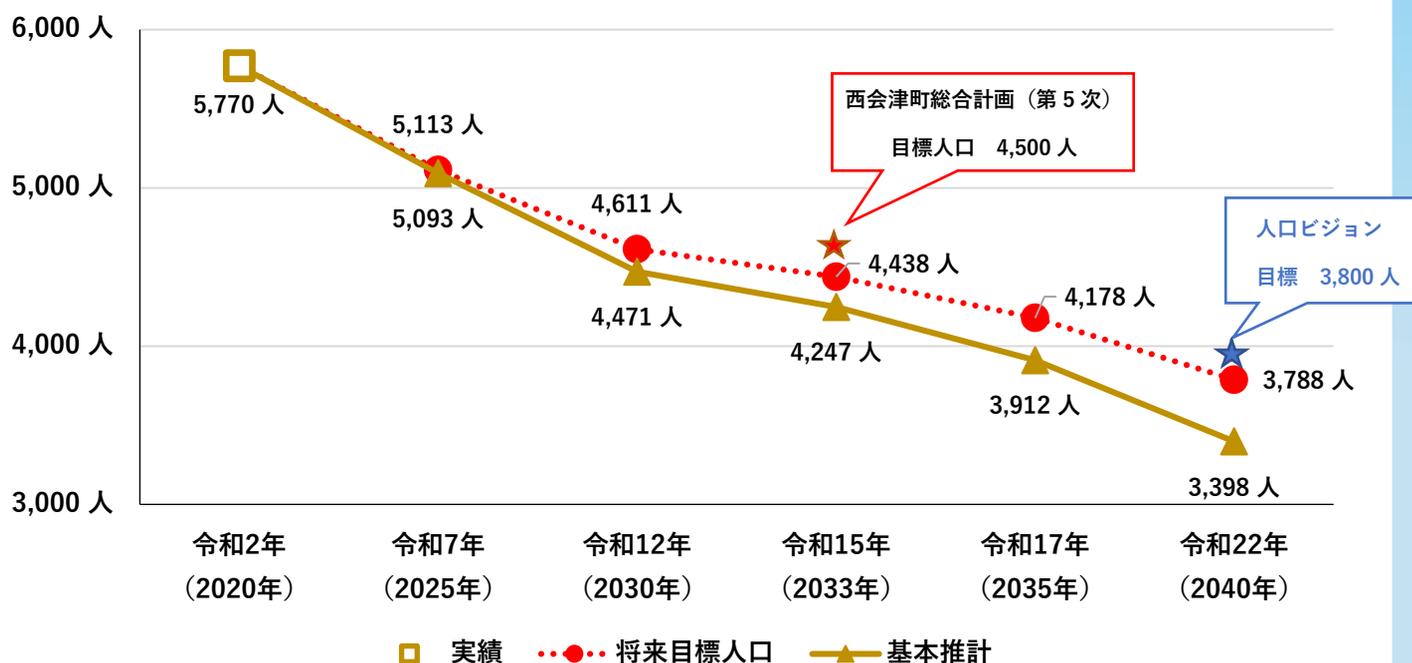
本計画においては、計画の最終年である令和15年の目標人口を設定します。

令和22年の目標人口は、本基本構想策定時及び人口ビジョンにおける3,800人を踏襲し、令和15年の目標人口を4,500人とします。

実現に向け、本計画期間中に、町外から年平均20人（うち10代から20代の若い世代約10人）の移住者の増加を目指します。また、合計特殊出生率については、計画期間中に1.6まで引き上げることが目標とします。

令和15年  
目標人口 4,500人

#### ◆ 将来の目標人口



## 第4節 町の将来デザイン

### 群岡地区

こしゅしんそう  
「古守新創」

一人ひとりの小さなチャレンジが、  
地域に息づく群岡



### 野沢地区

歴史・伝統 未来へつなぐ  
～もっと歩きたくなる野沢～

**奥川地区**  
奥川らしい 風景を残し  
自然を楽しみ “結”を育む

**新郷地区**  
自然・伝統・芸術が  
織りなす、新しい郷

**尾野本地区**  
あつまる つながる ひろがる 未来  
～尾野本にはまりっせ～



## 第2章 施策の体系



全体に取り入れた考え方  
【一人ひとりが幸せな暮らしを実現できる能力・環境】